

フィッシング対策協議会について

フィッシング対策協議会 (JPCERT/CC)
情報セキュリティアナリスト 山本 健太郎





- フィッシング対策協議会について
- フィッシングの動向
- フィッシング事例
 - 地方銀行

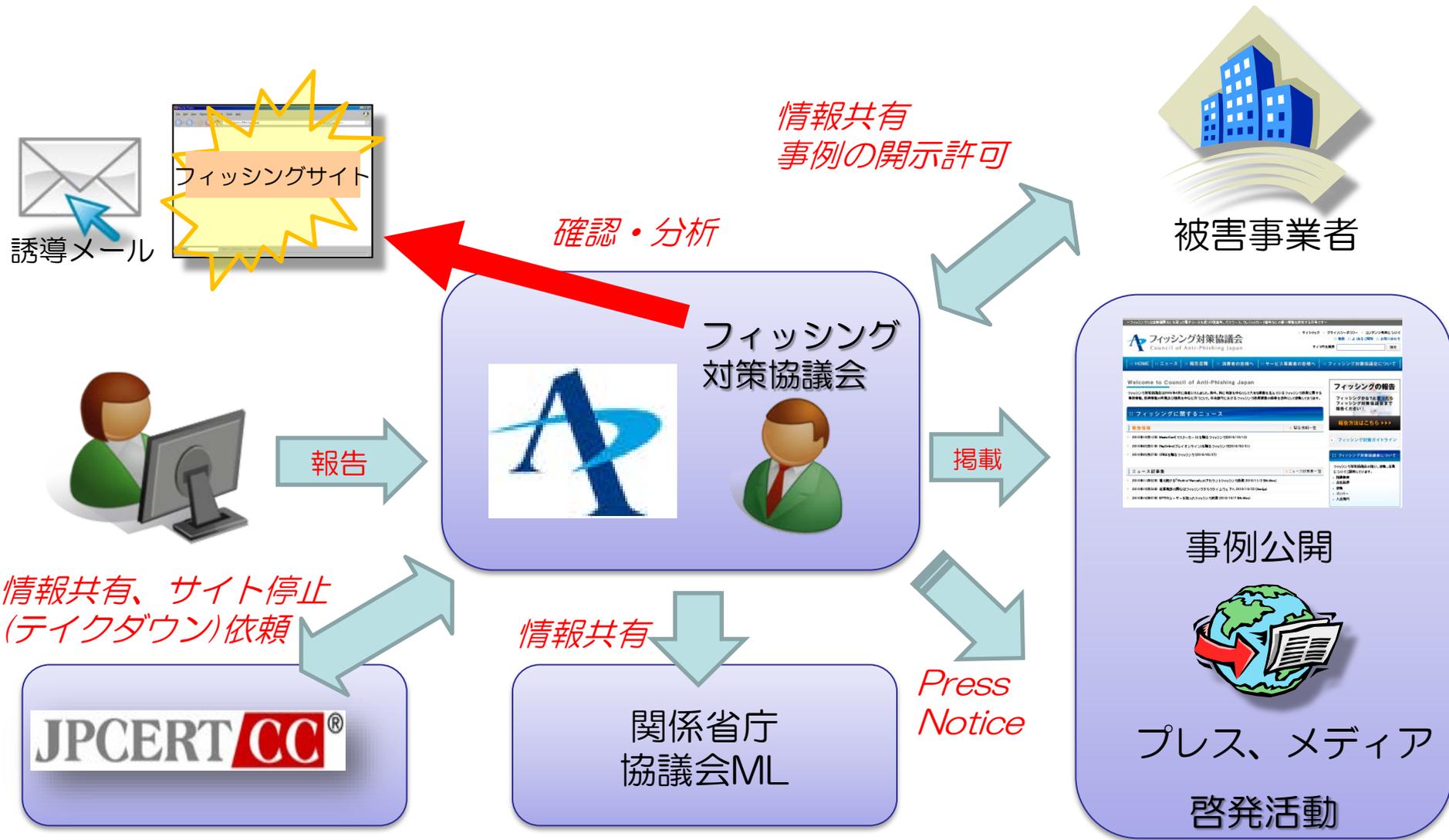


フィッシング対策協議会について



- 設立
 - 2005年4月
- 名称
 - フィッシング対策協議会 / Council of Anti-Phishing Japan
- 会員
 - 金融機関、信販会社、オンラインサービス、セキュリティベンダーなど
91組織が加盟 (2016年11月現在)
- 会長 岡村 久道
- 運営委員長 加藤 孝浩
- 事務局 JPCERTコーディネーションセンター
- 目的
 - フィッシングの攻撃対象となり得る事業者又はその団体や、防御手段を提供し得る事業者などにより構成される「フィッシング対策協議会」を運営し、フィッシングに関する情報収集・提供、動向分析、技術面の検討などを行う

フィッシング対策協議会の活動イメージ

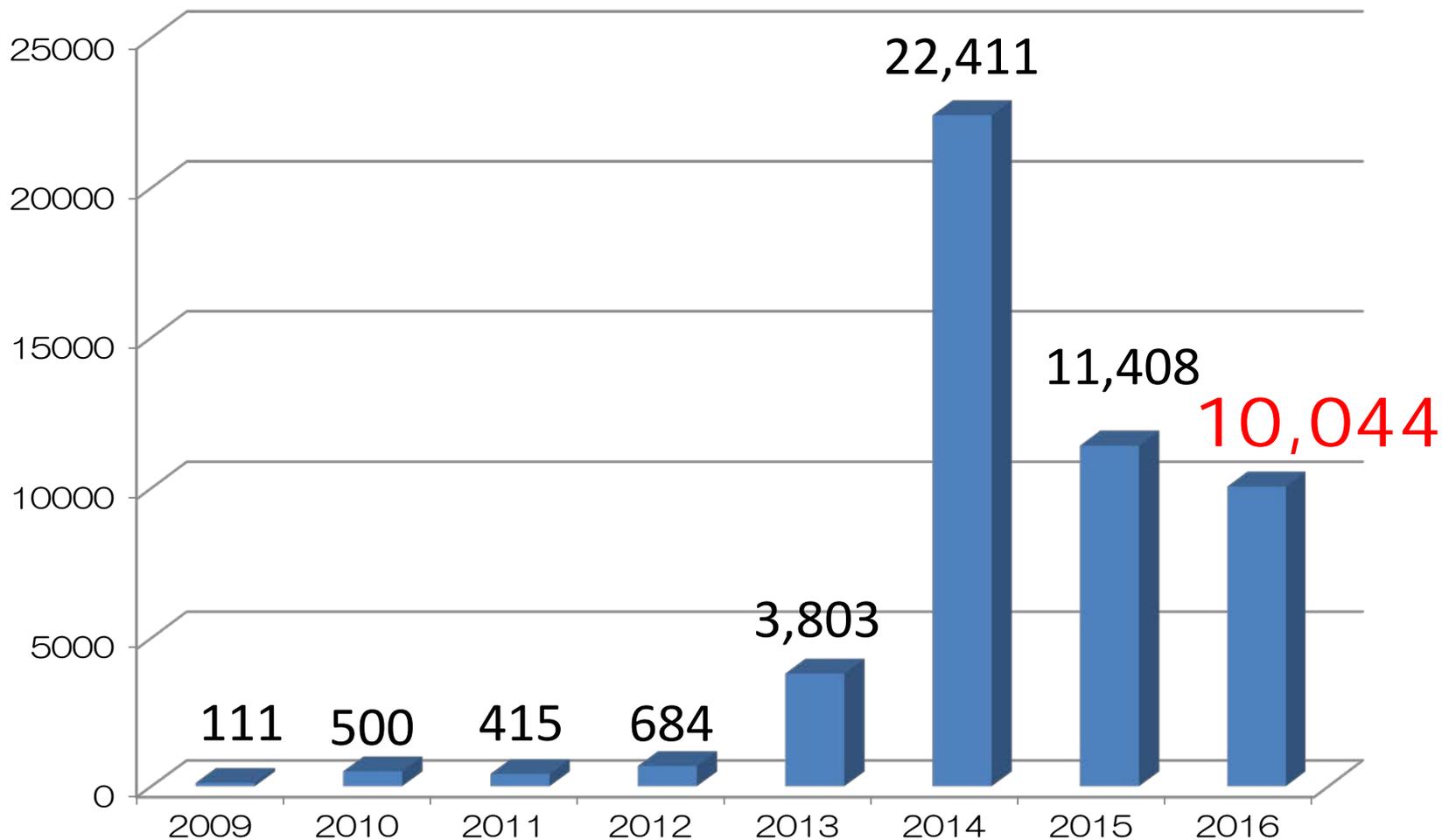




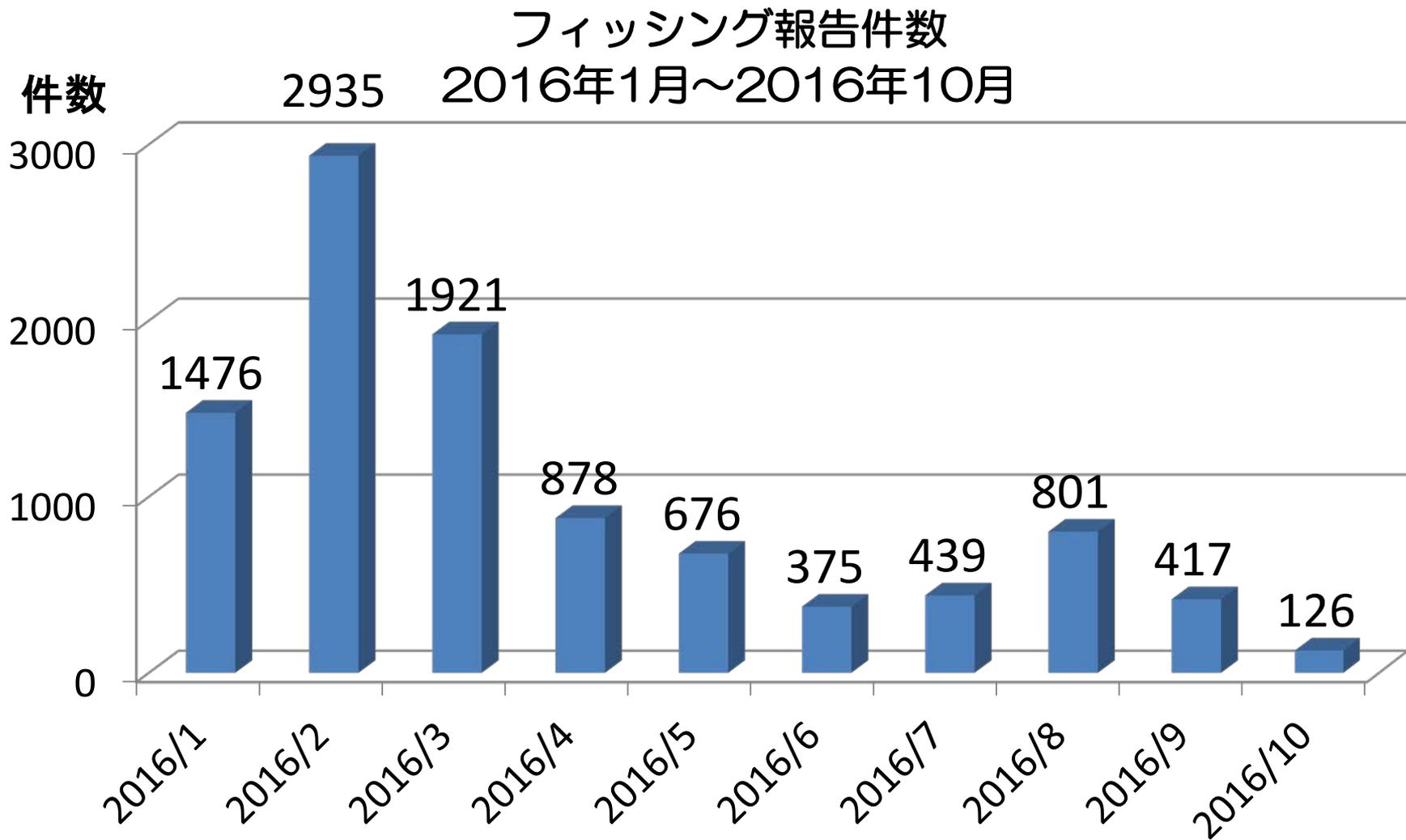
フィッシングの動向



フィッシングメール報告件数 2009年～2016年(10月末)



昨年に比べると今年のフィッシングの報告は微減している





フィッシングの事例



2016年8月に地方銀行をかたるフィッシングが見つかった

1. ターゲットとなった銀行

- 福岡銀行、京都銀行、静岡銀行

2. 共通点

- フィッシングに使われたドメインが同じgTLD
 - .cc オーストラリア領ココス (キーリング) 諸島
- メールの文面や、送付された宛先がほぼ同一と思われる



4つの共通点

- 元メールの送信時刻はいずれも 23:00 頃 - 翌日夕方頃までで、
サイトが上がっているか否かは連動していない
(すでにサイトは閲覧不能でも、メールは送信されている)
- フィッシングサイトのホストの IP アドレスは以下の事業者
に割り当てられている
Jiangsu Sanai Cloud Computing technology co ,LTD
- メール発信元の IP アドレスはいくつかブロックがあるが、
すべて以下の事業者に割り当てられている
CHINANET Sichuan province network
- メール Sender (envelope-from) はいずれも sva2@163.com
SPF 判定しているドメインでは Fail 判定されていた

■ お問い合わせ/サイト停止のご依頼は

□ フィッシング対策協議会 報告窓口

■ Email: info@antiphishing.jp

■ Web: <https://www.antiphishing.jp>

■ Twitter: http://twitter.com/antiphishing_jp



フィッシング対策協議会

@antiphishing_jp

フィッシング対策協議会は2005年4月に発足いたしました。海外、特に米国を中心として大きな被害を生んでいるフィッシング詐欺に関する事例情報、技術情報の収集及び提供を中心に行うことで、日本国内におけるフィッシング詐欺被害の抑制を目的として活動しております。

<http://www.antiphishing.jp/>

□ フィッシング対策協議会 事務局（入会/取材等）

■ Email: antiphishing-sec@jpcert.or.jp

■ Tel: 03-3518-6120